

仲間の声

■インフルエンザ、風疹が流行っているため、予防のために手洗いとうがいをおこなっています。

須山 哲さん（吹田水労）

■市民病院で理学療法士をしています。高齢化の影響か、年々リハビリテーションを必要としている患者さんが増えています。

久保 侑平さん（岸和田市職労）

■委託調理が進むなか、それを管理する職員まで不足。ノー残業デーと共有されても、仕事量がついていけません。

石田 英三さん（枚方市職労）

■再任用職員（週30時間）として元の職場で勤務していますが、シンドイ！フル回転で頭は老化しないだろうと思えるくらいだが、お茶べらいゆっくり飲める時間が欲しい！

田中 ひとみさん（堺市職労）

■地震や台風の被害がよつやく落ち着いてきた今こそ、さらなる防災の意識改革をすべきだと思います。

樽井 研人さん（吹田水労）

■先日、職場で定期大会が行われた。独法の問題点が、だんだんと露わになつてきているように思うが、職場環境の改善には組合加入者をもっと増やさなければいけないと強く感じた。

川畑 拓也さん（大阪府職労）

働く仲間のたすけあい 共済コーナー

個人賠償責任共済

年間掛金1,200円で
賠償額2億円

示談代行付

2019年4月1日効力開始の個人賠償責任共済の継続と新規募集時期が近づいてきました。個人賠償責任共済では、通勤、通学の自転車の賠償事故への対応はもちろん、「水漏れにより階下に損害を与えた」など、日常のくらしで突然起こってしまう賠償事故にも対応しています。

個人賠償責任共済の掛金は年間1,200円。最高賠償額は2億円で、示談代行付です。組合員本人の加入で、同居の親族と別居の未婚の子まで補償されます。

年1回の募集時期を逃さず、個人賠償責任共済の加入で、日常生活の賠償事故に備えましょう。

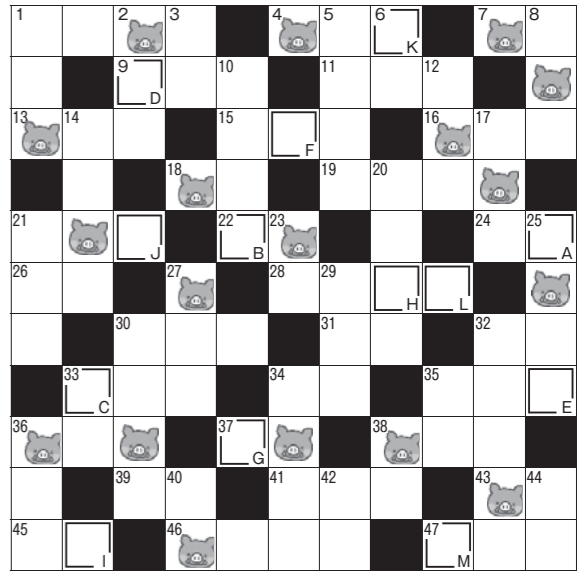
新春クロスワードパズル

ワケのチカ

1 体型や筋肉が男つぽいさま。○○○○マン
2 さしさわり、さしつかえ。○○○○を来す
3 ○○○から出たまこと
4 負けまいとする気性。○○○○の強い人
5 ○○○の強い人
6 ゴルフでアウトの対野に在る鳥、野生の鳥

7 ク内に今年のエト（猪）にちなんで19か所に猪のイラストが入っています。その部分は意味に関係なくシシまたはチヨと読み替えてください。パズルを解いたのち、A～Mのアルファベット順に並べてできる言葉を答えてください。（タテとヨコで読み方が異なる箇所もあります）

ヒント…住民の願いに応える府・市政に変える年にしましょう！
出題者：山本汎昭さん



ヨコのチカ

1 みちしお。干潮の対
2 獅子頭をかぶって舞う舞
3 命令を受けて使いをする人
4 わきみ。授業中キヨロキヨロ○○する
5 はっきり示すこと。自己○○欲
6 たくわえておくこと。○○○○庫
7 収入・支出の計画。○○○○を立てる
8 ビーマンの一品種、獅子唐辛子の略
9 市人以上が共同して書物を著すこと
10 年上
11 自分の著書
12 サナギが変態して成虫になること
13 若男女
14 洋式の傘を略して
15 痛い！「魔女の一撃」ともよばれる○○○○り腰
16 ミスをして思わず○○を仰ぐ
17 甘柿と○○柿
18 気分が乗ること。すっかり○○になる
19 図書館でコしを3冊借りた
20 苦情○○○係
21 菜の葉にとまれと歌われるのは？
22 著者の死後に出版された書物
23 詩を集めた書物
24 人生70歳の称。○○の祝い
25 庭園等に植えてある木
26 命がけで守ること。1点を○○○する
27 出る○○は打たれる
28 超過勤務の略。○○○○

10月号の解答「アキノヨナガ」

カ	シ	ツ	ヨ	ア	カ	シ
リ	ヨ	ウ	シ	リ	ソ	ト
ロ	モ	ク	カ	ミ	ソ	ト
ノ	ク	ナ	ジ	ヨ	ウ	シ
ノ	ク	ナ	ジ	ヨ	ウ	シ
カ	シ	ツ	ヨ	ア	カ	シ
リ	ヨ	ウ	シ	リ	ソ	ト
ロ	モ	ク	カ	ミ	ソ	ト
ノ	ク	ナ	ジ	ヨ	ウ	シ
ノ	ク	ナ	ジ	ヨ	ウ	シ

2018年10月号「クロスワードクイズ」の正解は「アキノヨナガ」でした。各職場から8人が20通、メール37通合計57人から回答をいただきました。つぎの5人のみなさんに図書カードをおくります。（敬称略）

- ▼柴田 有理（大阪府職労）
- ▼熊谷 直美（岸和田市職労）
- ▼小島眞理子（和泉市職労）
- ▼石田 英三（枚方市職労）
- ▼樽井 研人（吹田水労）

10月号の紙面に掲載



「子どものための署名です！」 保育士・学童保育指導員・保護者が共に声あげる (よりよい保育を！秋の大運動実行委員会)



大阪自治労連や大阪保育運動連絡会などが参加する「すべての子どもによりよい保育を！秋の大運動実行委員会」は、9月から各地で国・大阪府・市町村あての「予算を増やし、安心できる保育・学童保育を」署名や宣伝行動に取り組んでいます。12月2日には河内松原駅、八尾市アリオ前でそれぞれ1時間の宣伝行動が行われ、のべ60人の参加で260筆以上の署名が集まりました。

政府が今年10月から始めようとしている幼児教育・保育の無償化では、民間施設の費用負担割合を見直す一方で、公立施設は市町村全額負担にしようとしています。公立保育所の費用を自治体が全額負担することになれば、中核市の平均で2億5000万円の負担増になると試算もされており、公立保育所の存続自体が脅かされます。問題を知らせる取り組みと合わせて署名を広げる運動を続けます。

情報ひばり 仲間の声